

サステナビリティ関連の情報開示は、世界規模での各法域による取組を通じ、企業報告のエコシステムの中で、いよいよ正当な地位を獲得しつつある。今や気候、人的資本、その他のESG事項は、意思決定上、極めて重要な情報となっている。また、国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) の設立や証券監督者国際機構 (IOSCO) のような公的機関の支援により、一貫性と比較可能性が担保され信頼性の高い情報を提供する枠組みの構築に向けた道筋も明らかになった。

サステナビリティ情報が信頼されるためには、その情報開示を、高品質かつ独立した外部保証の対象とすることが不可欠であるが、これについては、高品質な基準を土台としたベスト・プラクティスが形成されつつある。

## 形成途上にあるベスト・プラクティス

規制の枠組みは、規範性を向上させ、企業が報告し保証する内容の範囲が明確になるよう設計される必要があり、これが確保されて初めて、堅牢かつ意思決定に有用な情報が提供される。またこのような規制は、コンプライアンス志向の報告と保証から脱却することを目指すべきである。

サステナビリティ開示と財務報告との連携を図ること(すなわち、統合思考を反映し、適時性を向上させ、マネジメント・コメントリーや統合報告書にサステナビリティ開示を含めること)により、企業内における情報の壁(サイロ)を解消し、報告と保証が相互に関連し合うアプローチを支えるべきである。

サステナビリティ情報の保証と財務諸表監査業務との密接な連携を図ることで、職業的専門家たる監査人のスキルやコンピテンシーだけでなく、監査人の企業戦略、ガバナンス、ビジネスモデル、リスク・機会及びパフォーマンスに関する知識を有効活用でき、企業とそのステークホルダーの価値を最大化することにもつながる。

今後、時間の経過とともに、現行の慣行である限定的保証業務から合理的保証業務へと移行することで、サステナビリティ情報の信用性と信頼性がさらに高まっていくだろう。

新たな報告と保証に対する要求事項の適用に当たっては、段階的アプローチをとることにより、実施のために必要な期間確保につながる。このことは、特に比較的小規模の企業に当てはまる。

## 高品質なグローバルスタンダード

「ビルディング・ブロック・アプローチ」に基づく調和のとれたグローバルな報告システムは、堅牢で高品質な保証のための理想的な基盤となる。サステナビリティ基準は、保証を念頭に置いて開発されるべきであり、保証プロセスは報告に関する各種枠組みと整合させる必要がある。

一般に、グローバルレベルで規制に一貫性が欠落する状況は、不必要なコストを生み出し、比較可能性と一貫性を低下させるが、これは、サステナビリティ情報の報告と保証に関する基準にも当てはまる。

ステークホルダーのニーズに応えるため、ISAE3000(改訂版)は、業務実施者の能力、品質管理基準の遵守及び職業倫理に関する枠組みを要求している。ISAE3000(改訂版)は、最もグローバルに受け入れられている基準であり、サステナビリティ情報の保証業務の進展と一貫性を促進するための基盤として位置付けられている。

制度とそのエンフォースメントにおいて、様々なサステナビリティ情報保証業務のサービスプロバイダーに対して、統一的基準の適用が担保されなければならない。そうでなければ、報告対象となる情報のインテグリティと信頼性に疑念と混乱が生じることとなる。

サステナビリティ情報の保証は、業務実施者が職業専門家としての判断と懐疑心を行行使し、独立性を持って行動できるかどうかにかかっており、これらは全てIESBA倫理規程のような倫理的な枠組みに従って行われるべきである。

## 保証による報告の信頼性の向上

政府及び規制当局は、高品質の保証を求めることで、サステナビリティ情報開示に対する信頼と信用を最大限に高めるべきである。

## エコシステムを支える

- 報告対象となる全ての情報について、コーポレートガバナンスを通じて、実効性の高い監督が担保されるべきである。なお、このような情報には、戦略的意思決定、リスクマネジメント及び投資家・ステークホルダーの信頼に関わる企業価値ドライバー及び/又は社会的インパクトが含まれる。
- 監査事務所が多様な専門性を保持することによって(Multidisciplinary firms)、職業会計士がサステナビリティに関する主題を統括し、それによって付加価値の高い業務提供につながる。
- 職業会計士団体は、会員のサポート、教育、そして技術的なガイダンスを提供するとともに、政策立案者、規制当局、投資家、その他のステークホルダーとの議論を通じ、高品質な報告と保証を推進すべきである。
- 法的責任に関する現在の枠組みは、高品質なサステナビリティ情報開示とその保証をより確実にすべく、時代に応じた内容に更新される必要がある。